第18回 全修協通常総会

修旅委組織拡大へ

2月18・19日 熱海で盛大に開く

財団法人・全国修学旅行研究協会（山本種一理事長）の第十八回通常総会は二月十八、十九日、熱海市の新熱海ホテルで開催することになった。全修協運動に協力する衆参両議院議員、関係官庁、国鉄、諸団体、会社などの代表を迎えるほか全役員支部長など百数十名が出席する。

昨年、創立二十周年記念総会と第十七回通常総会が同所で行われ、記念事業などを決定実施してきたが、本年度の総会ではこれら事業の継続と修学旅行関係では各地区および各県の修学旅行委員会の結成推進、研修旅行では一万名達成への具体的方策が提案される。

第一日の十八日は午後一時三十分から開会、昨年度の事業報告と本年度事業計画を審議決定するほか地区会議も行われる。十九日は午前九時から全体会議を開いて正午閉会する。なお前日の十七日午後三時から同所で役員会も開く。

衆知あつめて前進

奥埜磯次

明けましておめでとうございます。

三地区修学旅行連絡協議会も本年で六年目を迎えることができました。これも全修協のご協力、ご支援のおかげと厚く感謝いたします。

さて、三地区連絡協の歩みを振り返ってみますと、それぞれの地域の独自性を生かしながら共通の問題についていろいろ検討し、研修して相当な効果をあげてきたと思っています。とくに近頃のように、あらゆる社会が複雑になってきた時代こそ、なお一層衆知を集めて問題解決に努力しなければならないと思われます。その歩みは遅々とし、さまざまの評価を受けながらも、少なくともこの三地区の公立中学校に学ぶ幾十万の生徒の修学旅行に関して、相当つくしてきたことは間違いのない事実であります。

また、中学校における修学旅行については、いろいろ批判はありますが、関東・東海・近畿地域における修学旅行の実施について、互いに情報を交換し検討し、研修しあって反省企画などの出来るこの協議会は、すばらしい組織であると思います。その結成時の苦労を見聞している者といたしまして先輩諸氏や全修協に対し、改めて心から感謝しております。

しかし、これからの修学旅行も世相の推移とともに、よりいろいろな問題が生ずることと思いますが、それにくじけず新しい意欲を燃やして精力的に取組んでいかなければならないと決意を新たにしております。とくに本年は昨年行なった実態調査の結果をふまえて少しでもよりよい修学旅行が実施できるように積極的に行動したいものだと考えております。

また、全修協のお世話で二回も行いました国鉄本社への専用列車の増発や、運賃の軽減などの陳情の結果もまだ未定ですので、これを成功させるためにもより強化な陳情の継続が必要であります。あれやこれやを考えると、今年も重要課題がたくさんあり、大いにがんばらねばならないと思っています。役員、委員の皆さんのご協力と、より一層のご研鑽と、また、全修協にはなお変らぬご支援とご指導をお願いいたしましてご挨拶といたします。（三地区中学校修学旅行連絡協議会長・近畿二府四県中学校修学旅行委員会委員長・門真市立第一中学校長）

教育現場から要望

安川武男

昨年の暮のことである。教え子たちのクラス会に招かれて出席した。そのとき集った者から「先生はいつ学校をおやめになりますか」という質問が突然出た。つづいて「先生がお暇になられたらみんなを修学旅行に連れてってください」

このことばには、いかにも修学旅行に行けなかった残念さがこもっていた。この生徒たちは昭和十九年に当時の国民学校初等科を卒業した者たちである。三十年も前のことだし、戦争中のことで修学旅行のできなかったことも私はつい忘れていた。しかし彼らにとっては修学旅行はこんなにも大切なことだったのかと一瞬胸のひきしまる思いがした。教育制度や学習内容は時代とともに変遷してきたが、学校教育の中で永くつづいている修学旅行の意義の大きいことを痛感した。

教育課程の中で学校行事として位置づけられ、教師と生徒、生徒相互の人間的なふれあいや、国の文化、経済、産業、政治を直接見聞することによって、広い知見を養うことはいうまでもないが、長い生涯の思い出のひとこまとなる修学旅行は、彼等の生涯にとって有効な体験であろう。

さて修学旅行の日程や内容は現状でよいのであろうか。最近各地で検討改善がなされつつあることは、時代に即応した修学旅行を実施するために重要なことである。小中高の校種や学校規模によって内容や方法が違ってくるのはもちろんであるが、いま中学校の修学旅行について、生徒の生活実態をふまえて二三の愚見を述べてみたい。

（一）日程と時間に追われ数多くの場所を見学巡回する旅行を検討して日程の一部にゆとりをもって、生徒自らが研究する場を設定する必要はなかろうか。また貸切バスの乗降に終始する見学から一部を徒歩で見聞をひろめるコースをくふうすることも大切である。

（二）遠足、社会見学、宿泊研修修学旅行など、それぞれの小中学校で実施されているが、市や地域での小中一貫した教育計画についてして、さらに検討しその明確を期さなければならないと思う。（三）修学旅行の問題のひとつに、宿泊施設がある。宿泊は従来からの観光地のみに頼らず、青少年の野外活動の場として、開設された施設を利用することを考えてはどうだろう。また、国や府県の協力によって、業界が修学旅行や青少年の研修機関として専用できる宿泊施設が建設されることを希望する。

最後に最も大事なことは、安全確保の問題である。生徒の生涯の思い出となる楽しい修学旅行が不慮の事故に遭うことのないよう、交通機関、宿舎、見学場所などの事前調査と立案などに学校責任者の細心な留意をはらうことはいうまでもない。（三地区中学校修学旅行連絡協議会副会長・東海三県中学校修学旅行委員会三重県代表・津市立西橋内中学校長）

考え直す修学旅行

峯友直

新年おめでとうございます。

本年も修学旅行が、生徒にとってよりためになり、より楽しい思い出として胸奥深く刻みこまれるようにしたいため、格段の努力をいたしたいものと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

私の若い頃は、旅行業者も存在しなかったため、大変な苦労を教員はしたものでした。国鉄との交渉はもちろん、旅館との交渉、見学場所の下見、そして旅行の〝しおり〟を作ることなど…。

いざ実施の段階となっても、旅行業者が添乗していませんから、一切を教員でやらなければなりませんでした。

あれこれ考えると、荷物を荷車に積み、みずから汗を流して引いた昔と、荷ぞくりはしてもらい、荷物は業者に持たせ、乗り心地よいエレベーターに乗っている現代との差、そんなふうにさえ感じられます。あまりにも業者まかせ、ふまえて二三の愚見を述べてみたい。

飛躍発展祈る

西岡権治郎

新年のおよろこびを申しあげます。

総選挙は保革伯仲時代の到来を思わせる結果に終り、七十七年度は激動の年を迎えようとしています。二十年の輝かしい伝統と歴史を持つ全修協は、必ずやこの時代を乗り切り、さらに飛躍発展されることと信じ、お祈り申しあげて新年のおよろこびの言葉といたします。（全修協大阪支部長）

重み増す運動

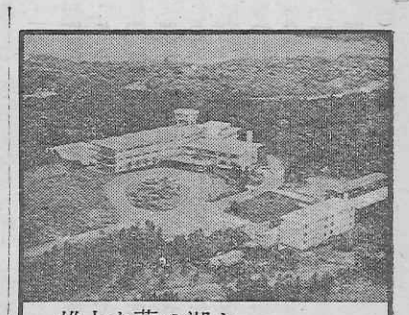
青山良道

迎春。一九七七年元旦。

創立二十周年の諸行事も成功裡に完了し、全修協の重みは全国教職員とその関係者からの新しい期待でいよいよ増してきた感がいたします。それにこたえるために修学旅行部門でも新しい感覚での教育実践の課題の整理、条件の整備を「記念事業として募集した論文・作文の意見を中心に一急がなければならないし、研修旅行部門でも社会的・国家的要求としての「国際社会に広く視野をとる」スケジュールを具体化しなければなりません。

幸い訪中団も二年連続して派遣した実績を生かし、日本文化と関連の深いアジア全域にわたっての計画の推進こそ必要緊急事ではないでしょうか。（全修協理事・東京都支部長）

おことわり　本号のほか全修協支部長、協力機関のかたがたからたくさんのご寄稿がありました。紙面の都合で次号に掲載しますのでご了承ください。



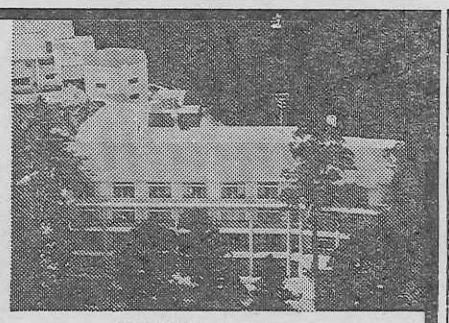
雄大な芦の湖と
美しい湖尻高原

修学旅行専用旅館
箱根高原ホテル
電話　0460（4）8595(代表)

修学旅行のお宿に
全館を開放

■延暦寺会館本館
■別館比叡
■延暦寺会館第1別館　〈収容600名様〉
■延暦寺会館第2別館

☆素晴らしい琵琶湖の夜景
☆根本中堂で早朝の座禅
☆スッキリした気分で次のコースへ
☆頭のよくなる精進料理
☆夜間は講話や映画上映を無料でご奉仕



〈国際観光旅館〉
比叡山　延暦寺会館
TEL　0775－78－0047・0554
TELEX　5464－917

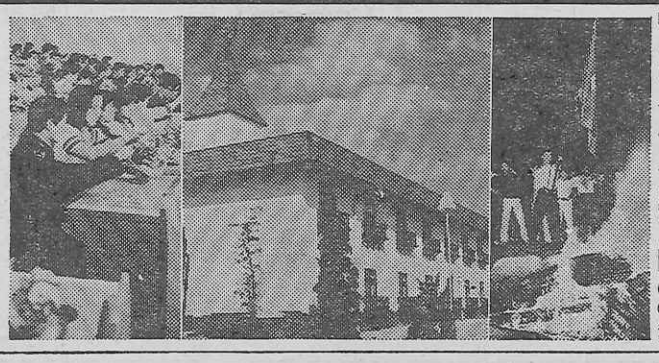
We'll be No.1
世界一をめざして、
奥別府安心院草原・115万m²の
野生の王国…

■営業時間/午前9時～午後5時
★尚冬期の最終受付時間は午後3時30分
一年中無休一
大分県宇佐郡安心院町大字南畑字西の台TEL(09784)8－2331(代)

チロル風のホテルは仲良し8人が一緒です。

集団生活の安全管理と宿泊の生徒さんの自主管理の両面から入念に設計された《スズカビレッジ》
●全館冷暖房完備
●防火優秀ホテルとして昭47.7消防庁長官賞受賞

2人で1台実物のエンジンを分解・組立てる
250名収容のテクニカルホールの生きた科学教育。
空へ、水へ、緑の中へ…自分でハンドルを握る〝ゆうえんち〟。
国際レーシングコースを走るレーサー気分も……
そして陽の落ちた広場でファイアーストームを囲んで
校歌を歌うひととき――
チロル風ビレッジの一夜、翌朝伊勢湾から昇る朝日も
忘れがたいもの、どれを取っても
学生生活を刻んだキラリと光るひとコマです。



昨年一年間で11万人もの学生さんが
この思い出深い修学旅行を体験しています
「人と科学と自然の接点」
今年の修学旅行こそスズカを加えた
《新近畿ルート》をご検討ください。
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。

鈴鹿国定公園 国鉄周遊指定地
スズカランド 鈴鹿サーキット　三重県鈴鹿市稲生町　電話＝0593〈78〉1111
株式会社ホンダランド　本社：東京都中央区八重洲5-5 ☎03(274)5821　大阪営業所：大阪市北区芝田町57-5 ☎06(372)1526

新春を迎えて

使命の重大さ

芦田重左衛門

初心一貫、躍進を続ける全修協の新年を祝福してやみません。協会の進展とともに社会的使命の重さも加わってまいります。山本理事長を中心に着実な発展を祈ります。（全修協監事）

目標確立の年

高田　治郎

昭和五十二年の新春を迎えて全国の同志のみなさんのご健勝を心からお寿び申しあげます。

さて、全修協も発足いらい二十一年目を迎えて考えなければならないことは、いささかマンネリ化して来たことではないかと思われます。毎年、定期的に行なわれる教職員の研修旅行についてもいえることではないかと思います。これからは協会が外部に依存しないで経営できるようにすべきでしょう。

それには理事機関がもっと積極的に執行の責任をもつように、また支部機関を整備していくことです。本年は少くとも将来に対する方針目標だけは確立したいものです。（全修協理事・北海道支部長）

意識の改造を

西山　文雄

二十一周年の新年を迎え、全修協に期待するものとして次の二点を提言したい。

▽保守維持意識より改革創造意識で若がえりを。

過去より未来を、維持より創造を活動の中心意識とすべき時だと思う。年齢の問題でなく、新しい意識で活動に当るよう、根本的改革も必要でないか。

▽研究の名に価する体制づくりを。

今までの研究に加えるに、まがり角にきた修学旅行の方向転換のため、研究体制の計画をたててもっと広く、もっと教育実践につながる研究をすすめてほしい。

（全修協三重県支部長）

研旅の成果を

朝川　清明

新年おめでとうございます。

全修協におかれては創立二十一年目の春を迎えられましたが、今日までに果たされた業績に対しまして敬意を表するとともに、ますます発展されますことを祈念いたします。

世界経済は深い停滞に入り込みわれわれを取りまく状況も楽観を許さないきびしい年となりそうです。

足もとをじっくんに見つめ直すとともに、より充実した研修旅行の成果を挙げられるよう一層の研さんをご期待申しあげます。（大阪市教職員互助組合事務長）

感慨深い21歳

田尻　一雄

新年を迎えて気は晴れ、新たな気力が湧いてくる。これが新年の功徳とでもいうべきか。

全修協も二十一歳の新年を迎えて感慨一段と深く慶賀にたえません。いままで築いてきた強固な礎石と社会的信頼、同志の結合の上にたって内容の充実と活動の質の高揚のためによき年であることを期待する。

（全修協大分県支部長）

新しい息吹き

笹川　正人

修学旅行の再検討が方々で叫ばれている。従来のような観光地めぐりの修学旅行を廃止するところも増えてきた。逆に新しい国土学習の場として見直す旅行のありかたも研究されている。鉄道運賃なども生徒の大きな負担となり、補助金増額の声も高い。生徒指導上の問題も多い、などなど。大げさにいえば修学旅行は曲り角にきているともいえる。

創立二十一周年を迎えた全修協は、これらの要望にこたえた活動を強力にするものでなければならない。（全修協新潟県支部長）

期待すること

狩野　政一

全修協活動へ期待。

①毎年研修旅行参加者の感想記録を本部において集め、これを会報で普及すること。

②海外研修旅行部を設置して有効でかつ経済的な計画を実施すること。

③支部活動の充実をはかる方法を講ずること。

（全修協千葉県支部長）

教育界へ貢献

村山　助雄

賢島で呱々の声をあげた全修協が、もはや二十一周年を迎えた。

山本理事長を中心に、当時、マンネリ化した修学旅行の重要性を痛感した同志相集り、問題の研究をはじめた小さな任意団体が、今では確固たる法人格をもち、全国的に組織を拡大し、しかも内には同志的に固く結ばれ、押しも押されもしない組織へと発展していった。そして「全修協」と各界各層に認識され、自他ともに許される存在へと飛躍していった。

過去から現在までに残した足跡はまた大きく、関係者の等しく認めるところであり、今後、協会が教育界になすべきことは数多い。年頭にあたり各方面から愛され、嘱望される全修協の発展を祈る。

（全修協常務理事・福岡県支部長）

価値ある存在

瀬川　尚志

成年になった全修協は、はっきりした目と大きな耳と、そして達者な足で全国をかけめぐり、いま以上にかけがえのない存在となることでしょう。

年頭に際して、そのことを、このほか祈念いたします。（財団法人・大阪府教職員互助組合事務局長）

任務は重大に

山本　亮

謹しんで新年のご祝詞を申しあげます。

不況と公共料金をはじめとする諸物価の高騰が続き、節約ムードが高まるなかで、教育性・安全性・経済性を追求する旅行など協会事業の任務はますます重要になっています。

年輪の重みを

田尻　貢

あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、全修協の皆さまのご健康とご発展をお祈りいたします。つみあげてきた年輪の重みをヒタヒタと感じつつ、本年こそ栄光の年であれと念ずるのであります。（全修協宮崎県支部長）

大記録に挑戦

魚谷時太郎

全修協の新しい年輪を加えるため、目標達成と画期的発展を期して大記録に挑戦してみたい。（全修協理事・兵庫県支部長）

研旅の拡大へ

伊藤　喜蔵

迎春。

昨年二十周年記念式典で協会功労者ということで私も受賞者のひとりに加えていただいたことを光栄に存じ感謝しています。

本務のかたわらお手伝いしただけのことですが、この栄誉にこたえ、さらに協会発展のために努力を続けます。とくに研修旅行参加者の拡大には県内関係者の協力も得て、全国目標一万人必達の実現に向って進みます。（財団法人・青森県教育厚生会参与）

理事長はじめ皆さまのげ努力によってますます事業を拡大・充実されますようお祈りいたします。

（島根県学校生活協同組合・専務理事）

全修協組織の展望

<1>

一九七七年の新しい時代の水流が音をたてて流れ込んでくる。全修協は昨年創立二十周年を迎え、ことしは躍進第一年次としての運動に入るがこの新しい歩みをになう人々を中心に全国組織の現況とその活躍を展望してみた。

県の特色を生かす

教育機関との強い提携も

北海道・東北地区

【北海道】支部長の高田治郎氏（理事）が精力的に活躍、北海道教職員組合、小中高校長会など教育団体の協力を得て運動の拡大を期している。おもなものは夏、春冬の研修旅行団の送り出しだが、とくに冬休み期間が長いのでその募集に成果をあげること、教育委員会から研修旅行参加者に対する補助金（総額二百万円）の獲得、全国からの研修旅行団の受け入れ態勢の確立折衝などを行っている。道庁はじめ道教組の支援がめざましい。

【青森】全修協創立いらい組織の強いところ。盛田三喜雄支部長、伊藤喜蔵事務局長を中心に秋元理事（県教育厚生会専務理事）が一体となり、県教育厚生会の協力で修学旅行の研究、研修旅行の推進に成果をあげている。同支部では毎年総会を開いて組織活動の強化をはかっているのが特色。

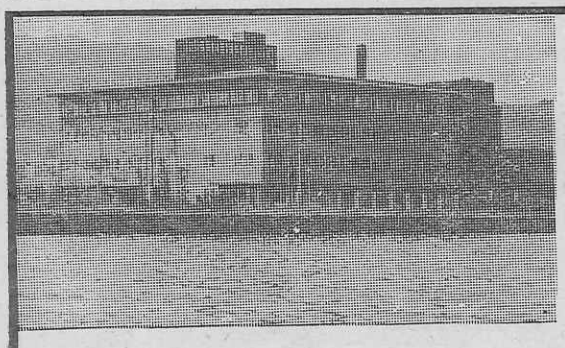
【秋田】昨年支部態勢をたてなおしたのでことしの活躍がみものだ。支部長の柿崎貞治氏は県教組委員長、県学生協理事長、県教互副理事長の要職にあり、また支部事務局長として新田久松氏（県学生協専務理事）が就任したので本年は新しい運動が展開されよう。

【山形】支部長は完戸一郎氏（理事）。県教委などのほか県内教育団体の全面的支持で、昭和三十八年には東北地方の中学生のための修学旅行専用列車「おもいで号」を誕生させた功績者。研修旅行分野でも活躍、毎年三百名以上の参加者を送り込んでいる。これには県互助会（事務局長・酒井充氏、担当者・鈴木忠氏）から補助金六百三十万円の裏づけもあり、その連けいぶりはみごとだ。完戸支部長は県議会議長の要職にあり公務の傍ら丹念に支部活動を続けている。

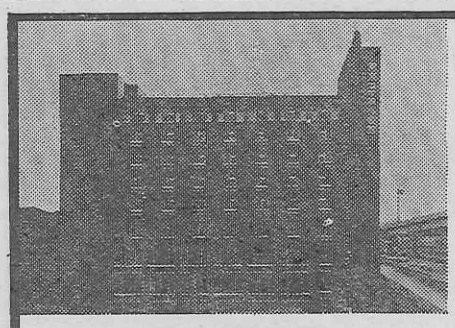
【岩手】協会発足当時、公選教育委員の砂子由次郎氏（元久慈市教育長）が支部長になり、昭和四十三年ごろから県教組の協力を得歴代の委員長が支部長に就任することになり現支部長は県教組委員長の阿部忠氏。実務は熊谷碩二氏（県学生協専務理事）が担当しているが、研修旅行の教育性が現場に浸透、県互助会からの補助金も得られたため本年の躍進が期待される。

【宮城】高橋富士男支部長（元・県公選教育委員、現県議会議員）が全修協創立に参加してから二十余年にわたる県組織の代表者実務の面は生協運動で知名の西条典雄氏（県学生協専務理事）が担当、研修旅行の参加者獲得のため補助金や職専免獲得などの検討を行なっているので本年は予期以上の好成績となろう。

【福島】支部は全修協結成に参加した氏家義之氏（当時公選教育委員）らによって発足した。全修協運動を正しく教育運動として受けとめ、三本杉国雄氏（現県教育長）を経て、現在は佐々木二郎氏が支部長。研修旅行は教職員の福利厚生活動であると高く評価、県教委福利課、県教職員互助会（担当長野猛彦氏）が主となって、運動を展開、現在では年間四百名が目標だが、その達成も間近い。



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　600名様
浴場　150名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。

東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585－1046(代表)
東京　コマ旅行会館

読みやすい
わかりやすい
修学旅行用ガイドブック
ができました！

「修学旅行のしおり」シリーズ（全3巻）　修学旅行学習研究会 編

九州編	近畿編	関東編
（九州全県）	（関西地方から山陽路）	（関東地方の主要見学地）
好評発売中　¥260	52年2月配本　¥290	52年10月配本予定

◆体　裁　各巻とも新書判（ポケットにはいります）
◆対　象　中学・高校生（男女）
◆ねらい　修学旅行のさいの見聞のよりどころとなるもので，単なる周遊コースのガイドにおわらず，文学・歴史・地理・社会などとの関連性を興味深く解説し，見学地の観光と学習の要素が一つになってわかりやすくまとめられています．（ご一報次第案内書進呈）

〈発売所〉実教出版株式会社　東京都千代田区五番町5(〒102)
電話（03）263－0111(代)